取扱説明書

パウチラミネーター
330R10

はじめに

このたびはGBCパウチラミネーターをお買求めいただき、
ありがとうございました。
ご使用になる前に、必ず取扱説明書をよくお読みいただき,
末永くご愛用くださいますようお願い申し上げます。
本取扱説明書は必ず保管してください。

目　次

1.内容物の確認 ························· 1
2.ご使用上の注意 ························ 2
3.各部の名称と働き ····················· 4
4.ラミネート作業上の注意················ 6
5.操作方法 ···························· 9
6.お手入れ方法 ························ 14
7.こんなときは ························ 15
8.製品仕様 ···························· 16
◆保証とサービス

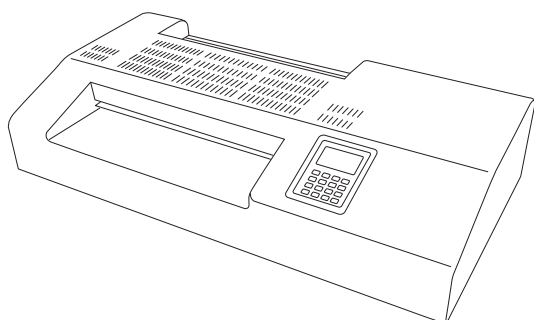
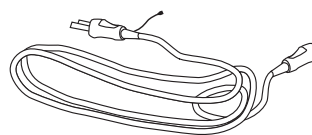
お客様へ

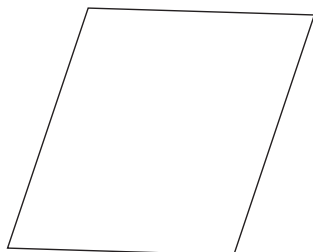
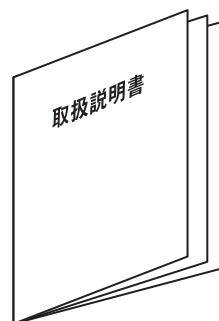
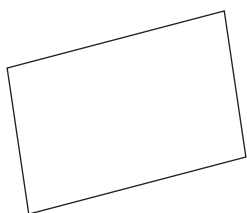
★小さなお子様自身の使用、または小さなお子様がいらっしゃる環境での使用は絶対にしないでください。
また使用しない時は、電源プラグを抜いてください。

★本機は制振性を高めるために底面にゴム製の足(ゴム足)を使用しております。一般に、ゴム製品に接する面の材質によっては(特にビニル系)、接触すると褐色に変色することがあります。
本機を置く場所の材質によって、変色を避けるためゴム足が直接触れないようにマット等の保護材を使用してください。

1・内容物の確認

下記のとおり、本体及び付属品が同梱されていることを確認してください。

マシン本体

電源コード

※付属の電源コードは、本機専用です。
他の電気機器ではご使用できません。

クリーニングペーパー

取扱説明書（本書）

ラミネーター使用時の注意書き

※お手元に置いてご使用になることをお勧めします。

2・ご使用上の注意

表示の意味

⚠ 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

安全にご利用いただくために、下記の注意事項を必ずお守りください。

⚠ 警告

危険ですので、お子様には絶対に使用させないでください。
　※思わぬけがをする恐れがあります。

マシンの上面およびラミネート直後の加工物は高温になっていますので、注意してください。
　※高温のため、やけどをする恐れがあります。

ネクタイ・ネックレス・髪などを引き込まれないようにしてください。
　※けがをする原因になることがあります。
　万一引き込まれたときは電源ボタンを“オフ”にして取り除いてください。

濡れた手で電源プラグを扱わないでください。
　※感電の恐れがあります。

電源コードを傷つけたり、加工したりしないでください。また、コードの上に重いものをのせたり、しないでください。
　※火災、感電の恐れがあります。

ご自分で分解、改造、修理をしないでください。
　※感電や思わぬけがをする恐れがあります。

本体内部へのエアスプレイの使用は絶対にしないでください。
　※発火する恐れがあります。

万一、煙が出たり、変な臭いがするなど、異常な状態になりましたら、使用を中止して、電源プラグを抜いてください。
　※火災、感電の恐れがあります。

この製品はクラスA情報技術装置です。住宅環境で使用する場合は、電波障害を発生させる恐れがあります。その際、この製品の利用者は、適切な手段を講ずることが必要とされることがあります。

⚠ 注意

本機は紙専用のラミネーターです。他の目的に使用しないでください。

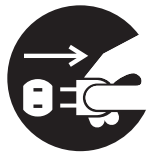
絶対に可燃物(セロハン等)、軟化しやすい物(塩ビ、ポリエチレン)は入れないでください。
　※火災の恐れがあります。

ラミネーター操作中はそばを離れないでください。また、加工を終了した場合は決められた操作を行い、必ず電源を切ってください。

絶対に本体の上に物を置かないでください。
　※本体上面は高温になります。

本機は必ず平らな所へ設置し、フィルム取出口側からラミネートしたものを取り出せるスペースを取ってください。

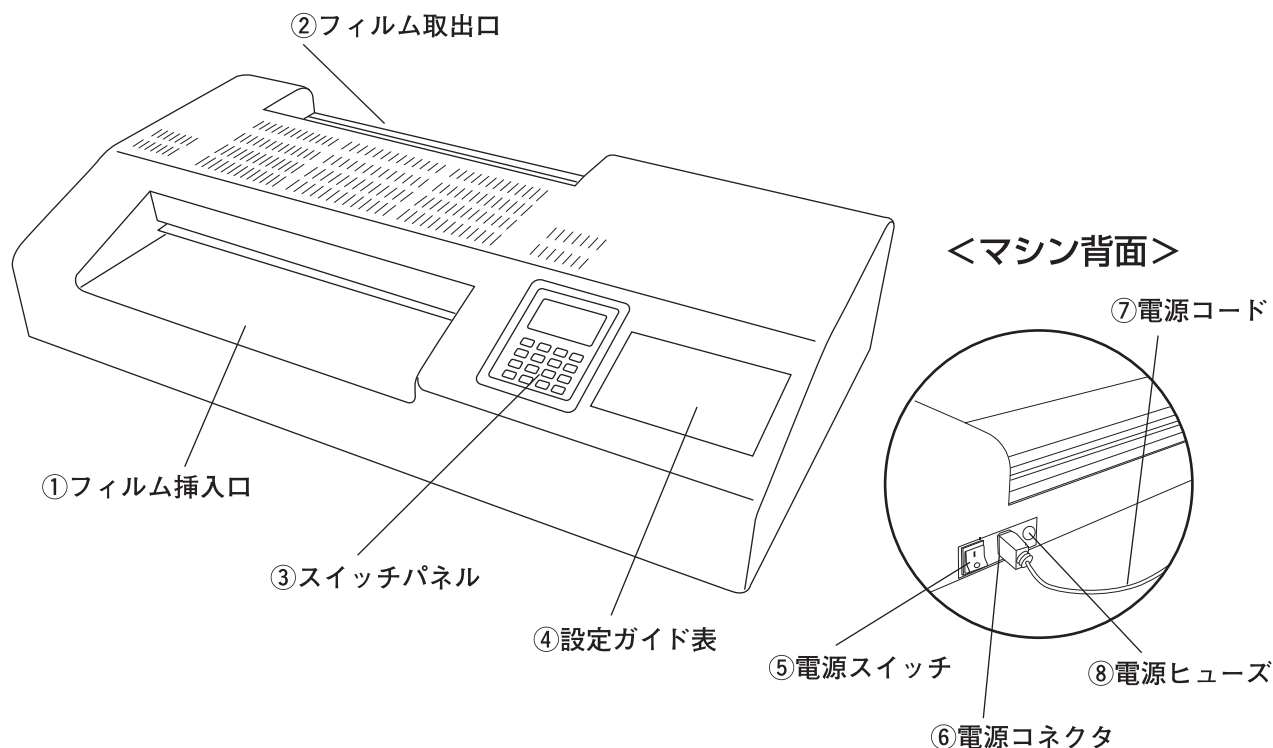
冷暖房のそば、高温多湿な場所、埃の多い場所で使用しないでください。
　※火災、感電の恐れがあります。

本機に水などをかけないでください。
　※火災、感電の恐れがあります。

電源プラグを抜く時は必ずプラグ部を持って抜いてください。
　※火災、感電の恐れがあります。

必ずコンセントの近くで本機を利用し、電源プラグが容易に着脱できるように、コンセントの近くにものをおかないでください。

電源は必ずAC100V 電源をご使用ください。タコ足配線はしないでください。
　※火災、感電の恐れがあります。

電源は必ずAC100V 電源をご使用ください。タコ足配線はしないでください。
電源プラグをコンセントへ接続する前に必ずアース線を接続してください。またアース線を外す時は必ず電源プラグをコンセントから抜いた後に行ってください。　※火災、感電の恐れがあります。

3・各部の名称と働き

①フィルム挿入口
パウチフィルムにラミネートするものをはさみこんで、必ずパウチフィルムのシール部(接合部)側から挿入します。

②フィルム取出口
ラミネートされたものがここから排出されます。排出されたフィルムを取り出してください。

③スイッチパネル
全ての操作はスイッチパネル上にあるキーで行います。また、ディスプレイ上に設定状況等が表示されます。（詳細は別記）

④設定ガイド表
使用するフィルム、ラミネートするものに合わせて、設定ガイド表に示す速度・温度を決め、スイッチパネルのキーを押して設定してください。

⑤電源スイッチ
このスイッチを(I)側に押して、電源をオンにします。ホットラミネート終了後は、絶対にこのスイッチで電源をオフにしないでください。電源をオフにする場合は、スイッチパネル上にある“POWER”ボタンを1秒間押してください。クーリングモードになり、ヒーターが冷却された後、自動的に電源はオフになります。

⑥電源コネクタ
付属の電源コードを接続して使用してください。

⑦電源コード
電源コードは必ずAC100V のコンセントへ差し込んでください。

⑧電源ヒューズ
定格250V 15A

＜ディスプレイ部＞

レディアイコン
設定したラミネート温度に達しますと、【READY】の文字が現れ、ラミネート可能なことを知らせます。

温度表示ディスプレイ
設定されている温度がデジタル表示されます。

モードアイコン
ホットラミネートモード、コールドラミネートモードを表示します。

冷却ファンアイコン
温度が85℃に達すると冷却ファンが作動し、冷却ファンアイコンが現れます。

速度表示ディスプレイ
設定されている速度がデジタル表示されます。

ローラーアイコン
温度が85℃に達するとローラーが回転し、ローラーアイコンが現れます。

メジャーアイコン
計測された温度・速度が表示されたことを表します。

＜ファンクションボタン＞

電源ボタン【POWER】
一度使用した以降は、このボタンを押して電源のオン･オフを行ってください。ホットラミネート後は、絶対に機械背面の電源スイッチで電源オフにしないでください。
終了後はこのボタンを1秒間押してください。クーリングモードになり、ヒーターが冷却され、約15～25分後に自動的に電源がオフになります。
再度使用する場合は、このボタンを1秒間押してください。電源がオンになります。

温度表示ボタン【MEAS】
このボタンを押すと、現在のローラー温度が表示されます。

ストップボタン【STOP】＜RUN＞
ローラー温度が85℃以上の状態では、このボタンを押している間だけローラーは停止します。
また、ローラー温度が85℃以下の状態では、このボタンを押すとローラーが回転を始め、再度ボタンを押すと、ローラーは停止します。

リバースボタン【REV】
このボタンを押し続けると、ローラーは逆転してラミネート途中のフィルムを挿入口より戻すことができます。ボタンから手を離すと、ローラーは正転します。

ホットラミネートボタン【HOT】
ホットラミネート加工の場合に使用し、このボタンを押すと、「温度110℃/速度3」に設定されます。（ローラーは85℃に達しますと自動的に回転を始めます。）

コールドラミネートボタン【COLD】
コールドラミネート加工の場合に使用し、このキーを押すと、ヒーターはオフになります。

設定メモリーボタン【MEMO】
よく使用する温度/速度をメモリーに設定できます。【1】～【3】
①【MEMO】ボタンを5秒間押すと、ディスプレイのデジタルが点滅します。
②【▲】【▼】ボタンを操作して、温度/速度を設定してください。
③ナンバーボタン【1】～【3】を押してメモリーに設定します。
メモリーを使用する場合は、【MEMO】ボタンを押した後、ナンバーボタン【1】～【3】を押してください。

カウントボタン【COUNT】
このボタンを押すと、ラミネートした数量が表示されます。

リセットボタン【RESET】
表示されたカウンターを「0」にリセットしますます。

温度設定ボタン＜TEMP＞
このボタンを操作して温度を設定します。上げる場合は【▲】を、下げる場合は【▼】を押してください。

速度調整ボタン＜SPEED＞
このボタンを操作して速度を設定します。上げる場合は【▲】を、下げる場合は【▼】を押してください。

4・ラミネート作業上の注意

誤った使用方法をされるとフィルムを巻き込んだりすることがあります。
次のようなラミネートは絶対にしないでください。

ラミネートするもの

★ このラミネーターは紙専用です。金属・ビニール製品・布・木片等はラミネートしないでください。紙でもコーティング処理された紙や油分を含むコート紙やユポ等はラミネートしないでください。

★ 和紙・感熱紙・クレヨン画など熱により変色変質する紙はラミネートしないでください。

★ 可燃物(セロハン等)・軟化しやすい物(塩ビ、ポリエチレン等)は絶対にラミネートしないでください。

★ 再生することが不可能なような貴重なものをラミネートしないでください。

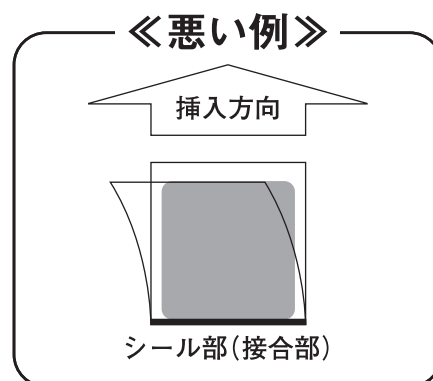
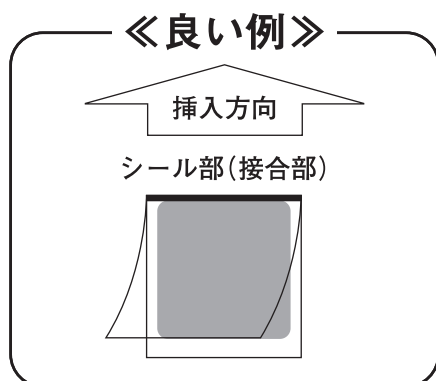
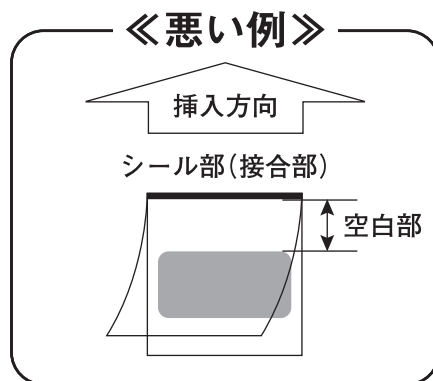
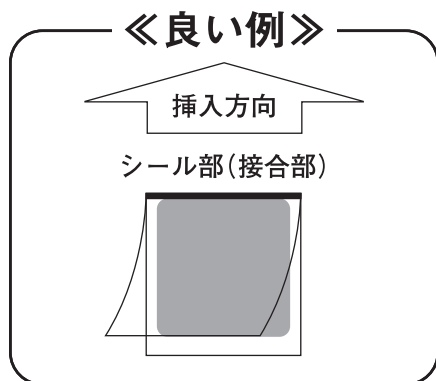
★ フィルムを含めて厚さ3.0 mm以上になるものはラミネートしないでください。

★ インクジェットプリント用紙はテスト加工をしてから加工してください。

★貴重品、複製不可能なものを加工する場合は、必ずテスト加工をして仕上がりを確認してから加工してください。

ラミネートするとき

重要　**ご使用になる前に必ずお読みください。**

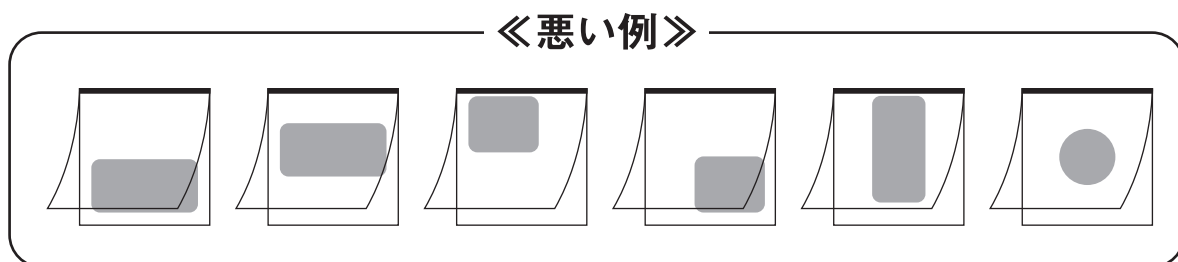
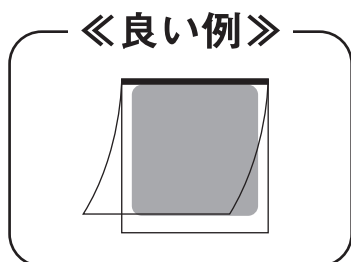
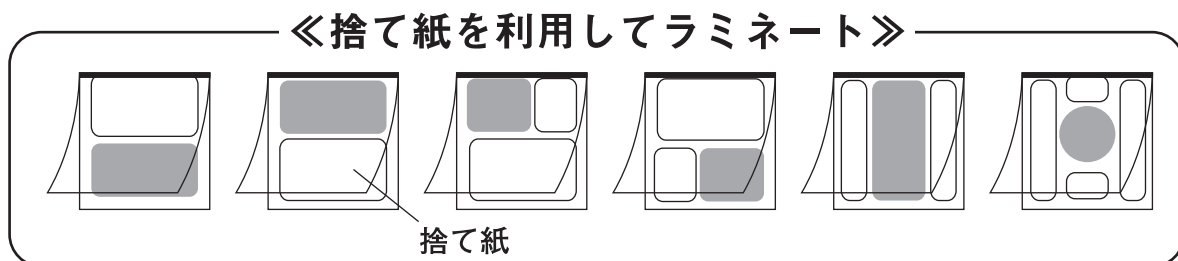
★ パウチフィルムは必ずシール部(接合部)からラミネーターに入れてください。
絶対にパウチフィルムのシールされていない側から入れないでください。詰まりの原因となります。

★　パウチフィルムのシール部（接合部）奥まで詰めて加工物をセットしてください。
挿入方向に空白部分があるとフィルムがカールして詰まりの原因となります。

★　加工物のサイズに合ったフィルムをご使用ください。
※フィルムサイズに合わない加工物は、捨て紙を使用してラミネート加工してください。
※フィルム先端部に余白部分を作らないようにしてください。
余白部分が多い場合はフィルム内部の糊がにじみ出て、糊がローラーに付着して故障の原因となります。
※凹凸のあるものはラミネート加工には適しておりません。故障の原因となります。

≪良い例≫

≪悪い例≫

対処法

≪捨て紙を利用してラミネート≫

捨て紙

★　ラミネートする前に、パウチフィルムをカットしないでください。詰まりの原因となります。捨て紙を使用してラミネートした後、カットしてください。

⚠ 注意

間違った使用方法でご使用になりますとフィルムが本機内部に詰まって故障の原因となります。（有償修理対象となります。）

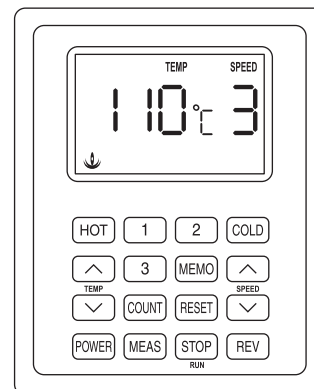
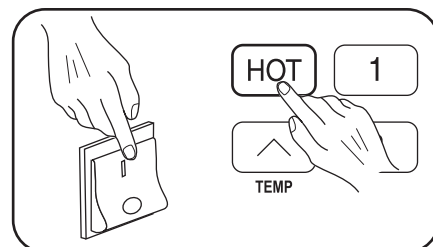
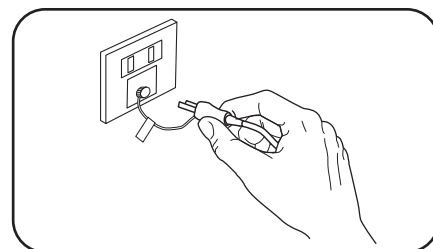
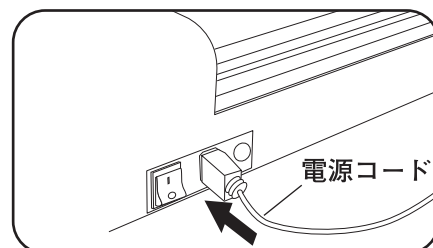
5・操作方法

①付属の電源コードをマシン背面にある電源コネクタへ奥まできちんと接続してください。

★必ず付属の電源コードを使用してください。

②電源スイッチがオフ“O”になっていることを確認してください。アース端子をアース接続した後にコンセント(AC100V)に差し込んでください。

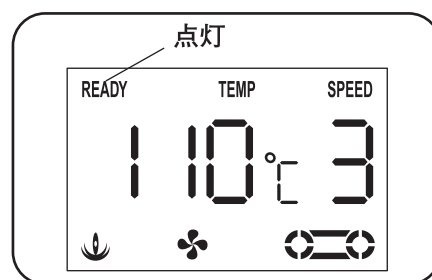
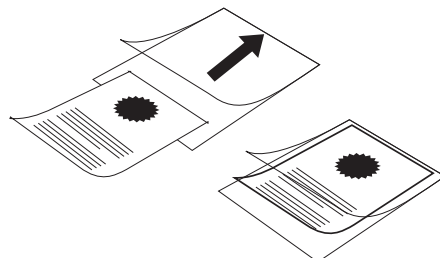
③マシン背面にある電源スイッチをオン“ I ”にしてください。その後、スイッチパネルにあるホットラミネートボタン【HOT】を押してください。ウォームアップを開始します。

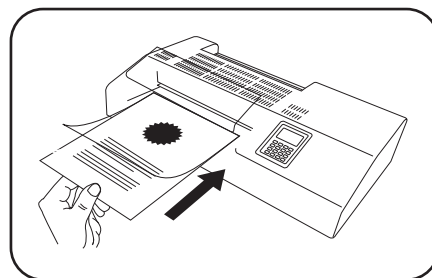
④使用するフィルム・ラミネートするものに合わせ(下表を参照)、ファンクションボタンを操作して、温度・速度を設定してください。
ホットラミネートボタン【HOT】を押すと、「温度110℃/速度3」が設定されていますので、温度設定ボタン・速度設定ボタンで設定値を変更してください。ディスプレイ上に設定温度・速度が表示されます。

※温度が高すぎるとフィルム詰まりの原因となることもありますので、数字の低い設定でテスト加工して、適切な温度設定を確認してください。

温度・速度設定目安表

加工用紙 ／ 使用フィルム	コピー用紙		カタログ用紙	
	温度	速度	温度	速度
100μm	110℃	3〜4	110℃	2〜3
	130℃	5〜6	130℃	3〜4
	145℃	7〜8	145℃	6〜7
150μm	110℃	2〜3	110℃	1〜2
	130℃	3〜4	130℃	2〜3
	145℃	5〜6	145℃	4〜5
250μm	130℃	2〜3	130℃	1〜2
	145℃	3〜4	145℃	2〜3
350μm	145℃	2〜3	145℃	1〜2

⑤約5〜8分後にディスプレイ上の【READY】が点灯し、ビープ音が3回鳴ってラミネート可能なことを知らせます。

※設定温度により時間は異なります。

★ラミネートするものをパウチフィルムのシール部全巾(接合部)の奥まで余白のないようにきちんと入れてはさんでください。

★貴重品、複製不可能なものを加工する場合は、必ずテスト加工をして仕上がりを確認してから加工してください。

⑥シールされた側からフィルムを通し、フィルム挿入口へまっすぐに差し込んでください。

★設定温度を変更した場合は、再び【READY】が点灯してから加工してください。

⚠ 警告

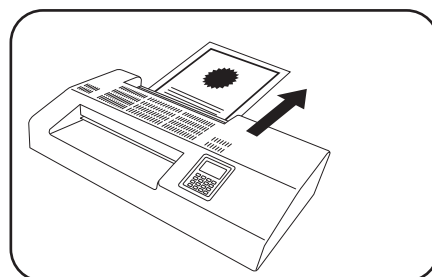
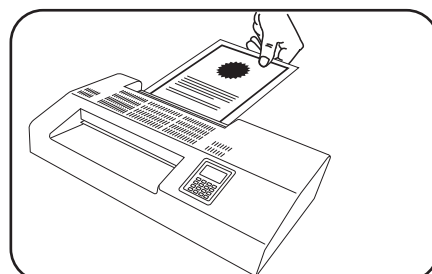
マシンの上面と側面およびラミネート直後の加工物は高温になっていますので、注意してください。
※高温のため、やけどをする恐れがあります。

⚠ 警告

ネクタイ・ネックレス・髪などを引き込まれないようにしてください。
※けがをする原因になることがあります。
万一引き込まれたときは電源ボタンを“オフ”にして取り除いてください。

⚠ 注意

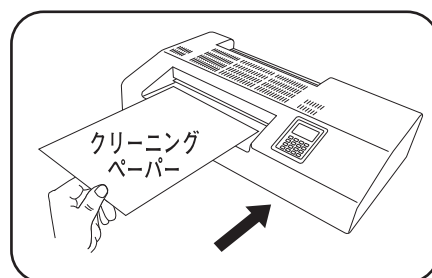
間違った使用方法でご使用になりますとフィルムが本機内部に詰まって故障の原因となります。

⑦パウチフィルムがマシン背面のフィルム取出口から出てきます。

⑧ラミネートされたフィルムをマシンから取り出し、平らなところへ置いてください。約1分間冷却して完了です。

⚠ 注意

背面部のフィルム排出口にはサブプルローラーがあり、常時回転しています。指やネクタイ・ネックレス・髪などを引き込まれないようにしてください。
※けがをする原因になることがあります。

連続ラミネートをする場合

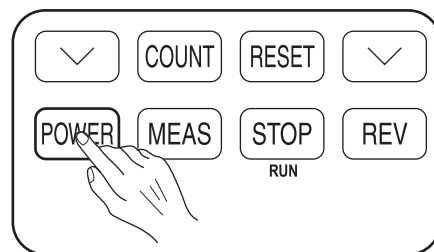
★連続してラミネートする時は、必ず前にラミネートしたものをフィルム取出口から取り出した後で、次のパウチフィルムをフィルム挿入口に入れてください。

⑨ラミネートが完了しましたら、ローラーを清掃するために、同梱のクリーニングペーパーをフィルム挿入口より入れてください。この作業を数回繰り返してください。(温度が高い状態の時に実施してください。)

ローラークリーニング

★ローラーが汚れていますとフィルムを巻き込む原因となりますので、加工後は必ずクリーニングを行って汚れを取り除いてください。

★クリーニングペーパーがない場合は、厚手の紙(画用紙程の厚さ、200g/m²程度の厚さの用紙)を使用してください。

★二つ折りにした紙を使用する場合は、必ず折った方から入れてください。また、コピー用紙等、薄手の用紙を使用すると巻き込む恐れがありますので、使用しないでください。

⑩クリーニングが終了しましたら、必ずスイッチパネルの電源ボタン【POWER】を1秒間押してください。
クーリングモードになり、ヒーターが冷却され、約15～25分後に自動的に電源がオフになります。

重要

※ホットラミネート後は絶対に機械背面の電源スイッチで、電源オフにしないでください。クーリングモードを経てローラーを冷却しませんと、ローラーの耐久性が極端に悪くなります。

リスタート時の電源投入方法

ホットラミネートで使用した後、クーリングモードを経て自動的に電源をオフにした場合、再度使用する場合は下記の手順で電源をオンにしてください。

★スイッチパネルの電源ボタン【POWER】を1秒間押してください。

★スイッチパネルのホットラミネートボタン【HOT】を押してください。

温度・速度のメモリー設定方法

よく使用する温度/速度を下記の手順でメモリーに設定することができます。
3件【1】～【3】の入力が可能です。

①【MEMO】ボタンを5秒間押すと、ディスプレイのデジタルが点滅します。
②【▲】【▼】ボタンを操作して、温度/速度を設定してください。
③ナンバーボタン【1】～【3】を押してメモリーに設定します。メモリーを使用する場合は、【MEMO】ボタンを押した後、ナンバーボタン【1】～【3】を押してください。

温度・速度の調整方法

ラミネートの仕上がりが白く曇ったり、フィルム中央に縦の波が見える時は、設定温度が低いか、ラミネート速度が速すぎるためです。
また、フィルムの横が波を打ったり、気泡が発生した時は、逆に設定温度が高すぎるか、ラミネート速度が遅すぎるためです。下記の方法で設定温度を変えてください。

＜温度調整＞
スイッチパネルにある温度設定ボタン【▲】【▼】＜TEMP＞で設定温度を変えてください。

＜速度調整＞
スイッチパネルにある速度設定ボタン【▲】【▼】＜SPEED＞で速度を変えてください。

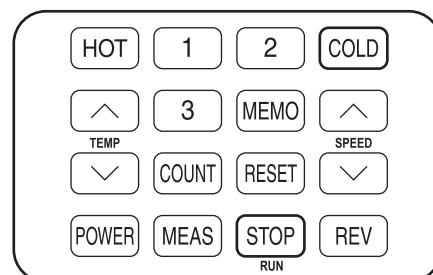
＜連続加工時の温度調整＞
連続加工をすると各部の温度が上昇し、波打ち・角折れ・フィルム詰まり等の不具合が発生することがあります。状況に応じて温度設定・速度設定を調整してご使用ください。

コールドフィルム（常温接着フィルム）をラミネートする場合

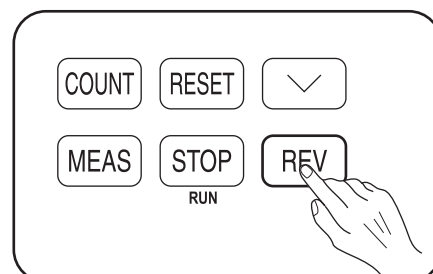
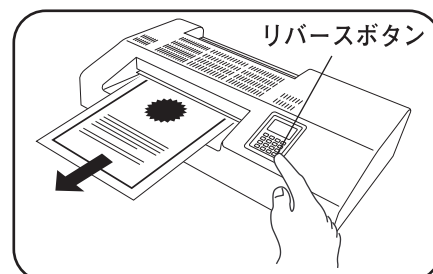
①コールドラミネートボタン【COLD】を押してください.

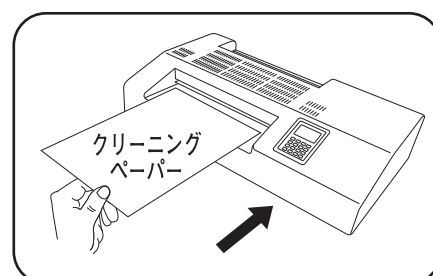
②ディスプレイ上に【READY】が表示されましたら加工できます。
ホットモードでラミネートしていた場合は、ローラー温度が40℃に下がるまで【READY】は表示されません。

③加工開始時は【STOP】<RUN>ボタンを押して、ローラーを回転させてください。
再び【STOP】<RUN>ボタンを押すとローラーの回転が止まります.

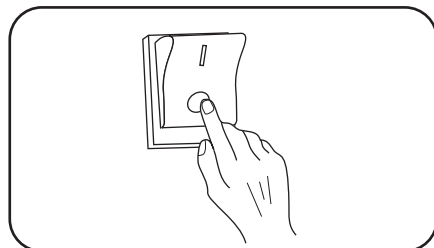
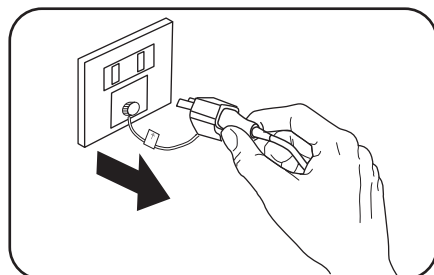
④コールドフィルムのラミネートでは目安となる温度／速度は20～25℃／3～4ですが、加工するものやフィルムの厚さによって温度と速度を調整してください。

フィルム詰まりトラブル解消方法（リバースボタン【REV】）

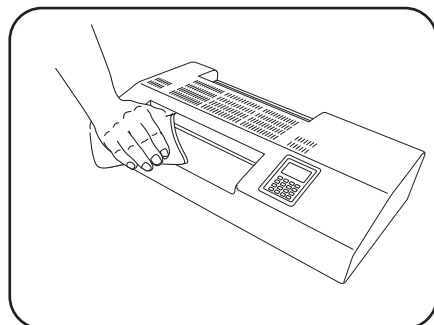
ラミネート加工時に、フィルム取出口から加工されたものが出てこない場合は、全てのフィルムが機械内部に引き込まれる前に下記のような処置をしてください。

①直ちにスイッチパネルのリバースボタン【REV】を押してください。

②加工物の全てがフィルム挿入口から排出されるまでリバースボタン【REV】を押し続けてください。

③必ずローラーをクリーニングしてください。

11ページのローラークリーニングを参照。

6・お手入れ方法

①機械背面にある電源スイッチをオフ“O”にして電源を切ってください。

★ホットラミネート直後は【POWER】ボタンを押してクーリングモードに設定し、ローラーを冷却してください。

②電源プラグをコンセント（AC100V）から抜いてください。次にアース線を外してください。

③やわらかい布でから拭きをしてください。

※お手入れはマシン本体の外部だけにしてください。

★汚れがひどい時は、中性洗剤をごく少量だけ布につけて拭いてください。

※シンナー・ベンジン等化学薬品は変色・変形・傷などの原因となりますので使用しないでください。

⚠ 警告

ご自分で分解、改造、修理を絶対にしないでください。

※感電や思わぬけがをする恐れがあります。

7・こんな時は

現　象	原　因	対処法（参照ページ）
電源が入らない	◇電源プラグが正しくコンセントに入っていますか？	電源プラグを正しくコンセントに入れてください。（9ページ）
	◇電源スイッチが“オン”に入っていますか？	マシン背面にある電源スイッチをオン“ I ”側に入れてください。ディスプレイにデジタル表示が現れます。（9ページ）
	◇電源ボタン【POWER】を押して“オン”にしましたか？	クーリングモードを経て自動的に電源をオフにした場合、スイッチパネルの電源ボタン【POWER】を1秒間押して電源を“オン”にしてください。（12ページ）
温度が上がらない	◇ホットラミネートボタン【HOT】を押しましたか？	ホットラミネートボタン【HOT】を押してください。ディスプレイ上の【READY】が点灯するまでお待ちください。（9・10ページ）
	◇クーラーの冷気が直接当たっていませんか？	クーラーなどの冷気から離してご使用ください。（3ページ）
ラミネートフィルムがはがれる	◇紙以外の材質のものをラミネートしていませんか？	紙専用のラミネーターです。紙以外のものはラミネート加工をすることができません。また、コーティング処理された紙、油分を含む特殊紙は加工できません。（6ページ）
ラミネートされた加工物が波を打っている	◇ラミネート温度が高すぎます。	温度設定ボタンを操作し、温度の設定を下げて、ディスプレイに【READY】がでるまでお待ちください。（9・10ページ）
	◇ラミネート速度が遅すぎます。	速度設定ボタンを操作し、速度の設定を上げてください。（9・10ページ）
ラミネートされた加工物の表面が曇っている	◇ラミネート温度が低すぎます。	温度設定ボタンを操作し、温度の設定を上げて、ディスプレイに【READY】がでるまでお待ちください。（9・10ページ）
	◇ラミネート速度が速すぎます。	速度設定ボタンを操作し、速度の設定を下げてください。（9・10ページ）
ラミネートフィルム表面が汚れる	◇ローラーのクリーニングをしていますか？	同梱のクリーニングペーパー、もしくは厚手の紙を使用して、ローラーをクリーニングしてください。（11ページ）

8・製品仕様

商品名	パウチラミネーター 330R10
品番	GLM330R10
サイズ(W) x (D) x (H)	655 x 350 x 150 mm
質量　kg	27.0 kg
電源	100 V, 50/60 Hz
消費電力	1.300 W
最大ラミネート幅	A3（330mm）
最大ラミネート厚	3.0 mm
ラミネート速度	400〜3,800mm / 分(50/60Hz)
ラミネート温度	常温、0〜160 ℃
加熱方式	ヒートローラー方式
ウォームアップ	約5〜8分

保証とサービス

★保証書は内容をご確認のうえ、大切に保存してください。
販売店印、お買い上げ年月日の記入の無いものは無効となりますのでご注意ください。

★保証期間中に正常な使用状態で、万一故障した場合には、保証書記載事項に基づき、無償修理または交換いたしますのでお買い求めの販売店、または、弊社へお申し出ください。

（1） 保証期間内でも次のような場合には有料修理となります。
- a 使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または損傷。
- b お買い上げ後の取付場所の移動、落下、引っ越し、輸送等による故障または損傷。
- c 火災、地震、水害、落雷その他天災地変ならびに公害や異常電圧その他外部要因による故障または損傷。
- d 過酷な条件のもとで使用されて生じた故障または損傷。
- e 本書の掲示のない場合。
- f 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。

（2）ご贈答品等で本書に記入してあるお買い上げの販売店に修理をご依頼できない場合には当社へご相談ください。

（3）本書は日本国内においてのみ有効です。

（4）本書は再発行いたしませんので紛失しないように大切に保管してください。

（5）補修用性能部品保有期間は製造中止後5年間です。
同等機種との交換により修理対応とさせて頂く場合もございます。

修理メモ

お客様相談窓口　：野田サービスセンター　04-7129-2135

この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがって、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についてご不明な場合はお買い上げの販売店または当社へお問い合わせください。

キ リ ト リ 線

パウチラミネーター　保証書

品　　名	パウチラミネーター 330R10
品　　番	GLM330R10
保証期間	1年
シリアルNo.	

★お買上げ日	年　　月　　日
★お　客　様	ご芳名 ご住所 TEL　　　　(　　　　)

★印欄に記入のない場合は無効となりますので必ずご確認ください。

ＧＢＣ製品をお買い上げいただきありがとうございます。
保証期間内に、取扱説明書等の注意書きにしたがって正常な使用状態で故障した場合には本書記載内容に基づき、お買い上げの販売店が無償修理いたします。お買い上げの日から左記保証期間内に故障した場合は商品と本書をお持ちいただき、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

販売店	住所／店名 TEL　　　　(　　　　)

アコ・ブランズ・ジャパン株式会社
〒164-0012東京都中野区本町1-32-2
ハーモニータワー14F
TEL.03-5351-1801
www.accobrands.co.jp

個人情報のお取り扱いについて

本保証書にご記入いただいたお客様の個人情報は、保証期間内のサービス活動や保証期間経過後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。お客様の個人情報は当社にて厳重に管理いたしますが、修理のために、当社から修理委託する保安会社などに必要なお客様の個人情報を預託する場合がございます。その場合は当社が厳重に管理いたしますので、あわせてご了承ください。